

# 個人データ保護のグローバル・マップ

## ～憲法と立法過程・深層からみるプライバシーのゆくえ～

主催 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート KGRI

KGRIサイバー文明研究センター CCRC

協賛 日本電気株式会社 NEC

2024年6月10日（月） 14:30～18:00

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス北館ホール



Orchestrating a brighter world

NEC

主催：慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート KGRI

KGRI サイバー文明研究センター CCRC

協賛：日本電気株式会社 NEC

### ■開催概要

日時：2024年6月10日（月） 14:30～18:00（開場 14:00）途中入退出自由

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

プログラムと参加申込についてはこちら(<https://www.ccrc.keio.ac.jp/event20240610/>)

### ■開催趣旨

AI 法制や個人データ保護法制をめぐる世界の動きは目まぐるしい。この“アジャイル（機敏）”な変化の方向性や可能性を予測するための最善の方法は、ある国家・地域の憲法ないしは憲法文化を知ることである。

こうした発想に基づき、NEC（日本電気株式会社）と慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）の共同研究グループでは、最新の制度の表層的な整理・叙述にとどまらず、各国のデータ保護法制の背景にある基本的な考え方や政治プロセスについて調査・分析・検討を重ねてきた。その成果の一つとしてこの春公表したのが、『個人データ保護のグローバル・マップー憲法と立法過程・深層からみるプライバシーのゆくえ』（弘文堂）である。

本シンポジウムでは、憲法的価値とデータ保護法との関係、自己情報コントロール権とデータ保護法との関係を中心に、各国の担当者が報告を行い（第一部）、これを受けて、ロビイングを含む政治過程・立法過程についてパネルディスカッションを行う（第二部）。不確実性や複雑性が著しく増大する VUCA 時代においてこそ、憲法理念や憲法文化にまで立ち戻り、本質を掴む意義が際立つ。本シンポジウムは、データ保護法制や AI 法制に関心のあるすべての人に、未来予測のための確かなメソッドを提示することになるだろう。

**■本イベントに関するお問い合わせ先**

慶應義塾大学サイバー文明研究センター 担当：鈴木

admin@www.ccrc.keio.ac.jp